

中間支援活動助成(創設)事業 実績報告

団体名	(特非)あしたあさって	代表者名	(職名) 代表理事	(氏名) 高橋 章子
事業名	つながるこのまち事業			

< 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構築 ・情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回数	書類作成指導 件数	その他 (調査研究等) 件数
R6 計画	月8件	LINE登録80名	地域づくり講座2回(30名)	1件	5件
R6 実績	月8件	LINE登録20名 Instagramフォロワー数369 名	地域づくり講座2回(30名) 女性と地域の活動2回(15 名)	2件	6件

< 効果と成果 >

創設支援2年めとなる今年度は新たな拠点である旧水尾町公民館を地域交流施設として運営をしながら実施することができた。場所があることの強みを活かし、人が集う場となるように運営を行った。初めての地域なので不安もあったが、自治協議会の協力を得て、つながりのきっかけを作ることができた。中間支援としては、小さい組織ではあるが、当法人の体制に見合っている内容であったと感じている。個別の相談が多く、まちの中心から離れた場所にある旧水尾町公民館に来てくださる方が何度も足を運んでくださることは、この場所に当法人が合っているからでありの皆さんや活動されている方々と一緒に作ることができた1年だった。地域と仲良くなる1年として、当法人を知ってもらう1年にしたいと活動をし、広報誌やSNSで繋がりをつくることができた。

秋からは、スーパーの移動販売車の販売場所になり、高齢者の方の集う場にもなっている。大きな一歩を踏み出すことができた1年であった。

中間支援としての力をさらにつけ、信頼されるNPO法人となるように努力していきたい。

< 連携と協働の成果 >

丹波ひとまち支援機構、北播磨市民活動支援センターに、中間支援としての活動のサポートやアドバイスを受けている(5回)相談できる場所があることで、軌道修正をしたり立ち止まって考えることができ、とても心強く信頼して頼ることができた。NPO法人西脇てとて広場とは、体験教室や、こども食堂の運営で連携し、市内全域にこども食堂を作りたいという活動に賛同いただき、楽器体験やお弁当づくりなどで連携することができ、てとて広場の事業にも駄菓子屋さんで出店するなど連携している。

西脇市福祉部こども政策課 西脇市生活困窮者自立支援連絡会の構成メンバーとして、市とも連携し情報交換することができている。

西脇市社会福祉協議会 高齢者の体操教室や子ども食堂の運営について連携している。

市民団体のれもんの木(小児がん支援団体)活動の支援と連携

市民団体大門こども食堂 こども食堂立ち上げ支援

< 今後の展望 >

新しい拠点である旧水尾町公民館は、地域交流施設として認識されつつある。大きく進んだと感じることは、利用者がそれぞれにつながり、場所を提供することで自分たちで企画し活動を自主的に実施するようになったことである。旧水尾町公民館を自分たちの活動できる場所として、うまく活用されるようになった。これからも継続できるように見守り、いつでも相談できる場所として運営を行っていきたいと思っている。

今後は高齢者が集える場となるように、体操のプログラムや声をかけ合える関係を築いていけるようにしたいと思っている。

さらに、この場所も決して近いわけではなく、もっと離れた場所の方にも手がとどくような活動につなげていきたい。公民館がもっと近くに、私たちがもっと近くになれるように、離れた場所に住んでいる方に会いにいきたいと思っている。小さなNPO法人だからこそできる細やかで、隣に住んでいるような、いつもここにいる「あしたあさって」を目指していきたい。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	400,000
自己資金等	34,412
合 計	434,412

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	220,000	220,000
	拠点賃借料	110,627	77,425
	旅費交通費	45,792	45,792
	謝金	40,000	40,000
	小 計	416,419	383,217
	間接経費 (一般管理費)	17,993	16,783
	合 計	434,412	400,000